


<白梅学びのエリア教育目標> よりよい未来・主役は子ども ～ 「自立・貢献・共生・創造」、よりよい未来を切り拓く人を目指して ～		
	<本校の教育目標> かしく・やさしく・たくましく	1月号 令和8年1月8日 板橋区立金沢小学校 校長 神保 幸次郎
	令和7年度	金沢小だより

「子馬たちにまけないように」

校長 神保幸次郎

子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。フリータイム（休み時間）には、さっそく校庭を駆け回って元気に遊ぶ姿がたくさんありました。今年は午（馬）年です。「馬」と聞いてどのようなことが思い浮かぶでしょうか。

馬は力強く、俊敏に前へ前へと駆け抜けるところから「前進」、「飛躍」、「行動力」などが連想されます。年賀状には競走馬がモチーフとなっているような駿馬や跳ね馬のほか、愛らしいイラストが散見されます。

馬の品種には、競走馬で有名なサラブレッドなどの“軽種”、東板橋公園内にもいる小型の馬・ポニーは“ポニー種”、がっしりとした体形、太い首と足が特徴で、大きな個体では体重が1トンを超える“重種”、などがあります。北海道を中心に飼育される道産子は馬体の特徴が重種に似ていますが、体高（人言えば身長）が125～135cmからポニー種になるそうですが、国内では北海道和種（在来種）に分類されています。

馬と人間の歴史は約6,000年前に始まったとされています。はじめは狩猟の対象だったそうですが、次第に家畜化され、輸送の手段や農耕において重要な役割を果たすようになったそうです。足の速さや持久力などから戦においても利用されるなど、人類の文明の発展にも深い関わりがあります。現代では競走や乗馬などの娯楽だけではなく、癒しの手段としても注目されています。

そのような馬の年ですが、子どもたちには校歌の「みどりの丘をかけってる♪ 小馬たちにまけないように♪」元気に、毎日を過ごしてほしいと願っています。そして、日々の暮らしの中で、よかったこと、失敗したこと、嫌な気持ちになったことがあっても、馬のように前への歩みをめざす逞しい心をもってほしいと思います。

その前への歩みが、ウマくいくことにつながるでしょう。

一人一台端末等の使用する時間について ～早寝、早起き、朝ごはんの推進～

今月から一人一台端末（貸与しているクロームブック）の夜間使用制限が始まりました。

金沢小学校における使用制限時間は次のとおりになります。

使用制限時間 21:00～翌朝6:00

小学生に望ましいとされている睡眠時間9時間をめざして、早寝、早起き、朝ご飯が習慣化するように、一人一台端末に限らず、ご家庭でもご協力をお願いします。

うま